

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム ほのぼの作成日: 令和元年6月28日

## 目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	15	職員を育てる取り組み	職員不足の中でベテラン職員が随所で頑張っているが、若手の職員が働ける職場環境を整え、職員が生きがいを持って働ける職場環境を整えていく。	これからのグループホームの経営が安定するためにも若手職員を採用し、働きたいけど時間の制約で働けない人達の希望を優先した雇用を検討する等、意欲的に働ける職場環境を整えていく。職員の経験や習熟度に合わせて、外部の研修を交代で受講してもらい、職員の介護技術の向上と意識の高揚に取り組む。	12ヶ月
2	51	日常的な外出の支援	利用者の高齢化が進み日常的な外出が困難になってきている。職員の頑張りで、日常的な外出(庭の散歩など)に出かけ、利用者の気分転換を図る。	広い敷地の中には、手入れの行き届いた庭園(イングリッシュガーデン)が整備されているので、利用者は散歩、日光浴で景色を眺めながら、気分転換を図っていく。併設デイサービスのイベントに参加して、地域の方と交流しながら、利用者の生きがいに繋げていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。